

## 第1号議案

# 2020年度事業報告

## 1 企画調整活動

### (1) 第28回総会の開催

日時：2020年6月2日(火) 14:00～

場所：和歌山県民文化会館 6階 特別会議室B(和歌山市小松原通り1-1)

※会場に参加できない方のためにオンライン会議併用

議題：2019年度事業報告・決算報告、会則改正案、2020年度事業計画案・予算案

### (2) 幹事会の開催(場所はいずれも市民のわかやま事務所とオンライン会議併用、時間：16:30～)

#### ①第1回幹事会(日時：2020年5月12日(火))

議題：総会議案等の審議、その他

#### ②第2回幹事会(日時：2020年10月15日(木))

議題：情報化フォーラム案、防災研究部会活動について、その他

#### ③第3回幹事会(日時：2021年3月24日(水))

議題：情報化フォーラム報告、部会活動報告、来年度計画予算等方針、その他

### (3) 情報交流会の開催

県内各市町村の意見を聴く機会として情報交流会開催を予定していたが、開催できなかった。

## 2 普及啓発活動

### (1) 講演会の開催

通常、総会後に講演会を開催するが、本年度は開催できなかった。

### (2) わかやま地域情報化フォーラム2021の開催

「小中高等学校 GIGA スクール構想の課題」

日時：2021年2月20日(土) 13:30～15:30

場所：オンライン配信(Zoom ウェビナー利用)にて開催

内容：

#### ① 基調講演1(13:30～14:30、60分)

「コロナ禍での遠隔授業の実際と「GIGAスクール構想」に向けて備えるべき情報スキル・モラル」

講師：豊田 充崇氏(和歌山大学教職大学院教授)

#### ② 基調講演2(14:30～15:00、30分)

「休業期間中に学んだこと」

講師：矢野 充博氏(和歌山大学教育学部附属中学校教諭)

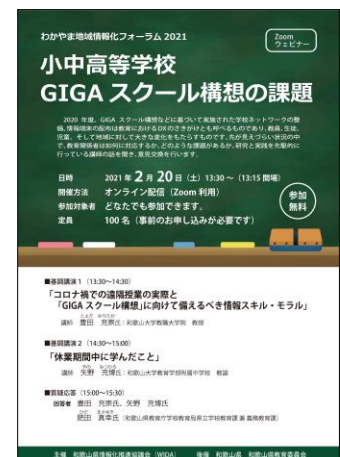
#### ③ 質疑応答(15:00～15:30、30分)

回答者：豊田 充崇氏、矢野 充博氏、

肥田 真幸氏(和歌山県教育庁学校教育  
教育局県立学校教育課 兼 義務教育課)

進行：佐藤 周(WIDA 幹事長)

参加者数：43名



終了後、収録した映像をもとに会員向けに動画配信を行った。

(3) 後援等

- ・「地域のお悩み×ICT ソリューションマッチング会」の共催  
日時：2020年10月23日（金） 13:00～16:00  
場所：大阪合同庁舎1号館 第1別館2階 大会議室  
主催：近畿総合通信局、近畿情報通信協議会

### 3 調査研究活動

(1) ICT 利活用普及部会：ICT 利活用の最新事例紹介や意見交換等を行う。

部会長：満田 成紀（和歌山大学システム工学部准教授）

- ・本年度は活動なし

(2) 教育 ICT 研究部会：教育分野の ICT 利活用の研究等を行う。

部会長：佐藤 周（和歌山大学名誉教授）

- ・本年度は活動なし

(3) 防災研究部会：災害発生時に必要となる情報共有・広報活動について、情報通信・放送など多様な情報基盤を活用するための研究等を行う。そのほか、臨時災害放送局サポーターの募集・登録や、災害時に被災者を支える災害情報・生活情報を速やかに提供できるシステム構築を目指す。

部会長：伊藤 宏（和歌山信愛女子短期大学教授）

本年度の防災研究部会の活動は、主として JR 西日本あんしん社会財団の助成を受けて行っている。助成金を受けた活動は、年度内に予定した活動がほとんどできなかったため、3 月末までの活動を 2021 年 9 月末まで延期して、引き続き行う予定である。

1) 臨時災害放送局設置運営訓練

みなべ町およびみなべ高校で臨時災害放送局設置運営訓練を行うため、関係者との連絡調整を行った。今回は田辺市の FM 田辺、和歌山放送田辺支局、紀伊民報の協力を得ることになっている。訓練は 2 月 11 日に実施する予定で準備を整えていたが、直前で中止とした。

2) 可聴域調査協力

紀南の 4 町において、近畿総通局放送課の実施する可聴域調査に協力し、事前に演奏所、送信所や放送体制についてヒアリングを行った。なお、可聴域調査は 2 月 24～26 日に実施予定だったが、直前で中止とした。

3) 「臨時災害放送局サポーター」の募集・登録

内容：大規模災害に備え、被災地で臨時災害放送局の開設・運営にあたるボランティアの「臨時災害放送局サポーター」募集、5 年経過し 30 名登録、引き続き募集継続中。

開始時期：2016 年 4 月 21 日（木）～（継続中）

2021 年 3 月末現在のサポーター人数：

サポーター登録者数 30 人（うち県内登録者数 16 人）

内訳：無線従事者 22 人（第一級陸上無線技術士 18 人、第二級陸上無線技術士 4 人）

情報ボランティア 8 人

4) その他

3 月 6 日、NHK ラジオ第一放送の特別番組「被災地とラジオ」に佐藤幹事長がインタビュー出演

し、WIDA がこれまで行ってきた取組について紹介した。高校生を対象とした研修や臨災局開設訓練が全国でもほとんど例のない珍しい取組として取り上げられたものである。

#### 4 情報提供活動

- (1) 協議会ウェブサイト (<https://wida.jp/>) の管理・運営。  
協議会の活動の告知、報告ページの作成等を随時行った。
- (2) メールマガジンの配信  
希望する会員あてに国・県の施策やイベント情報を月1回程度配信。その他、会員からの情報提供内容を随時配信。
- (3) SNS を利用した広報および会員の交流促進  
Facebook で協議会ページを作成。広報、およびイベントの参加申し込み受付などに利用。Twitter でも同内容を同時配信。  
<https://www.facebook.com/wida.jp>  
[https://twitter.com/info\\_wida](https://twitter.com/info_wida)
- (4) 協議会の活動を動画配信（会員限定）
  - ・わかやま地域情報化フォーラム等で撮影・編集した動画を保存・配信



#### 5 その他

- (1) 和歌山県警察本部（サイバー犯罪対策課）の広報活動に協力  
サイバー犯罪等に関する情報提供内容を随時メールマガジンでの告知またはWIDA ウェブサイトに掲載し、広報活動に協力した。
- (2) 2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、残念ながら予定の活動ができなかったところが多い。まとめて記しておく。
  - 企画調整活動
    - ・情報交流会の開催
  - 普及啓発活動
    - ・講演会
  - 調査研究活動
    - ・ICT 利活用普及部会の活動
    - ・教育 ICT 利活用普及部会の活動
    - ・防災研究部会の活動のうち、臨時災害放送局設置運営訓練の実施、および可聴域調査協力

以上